

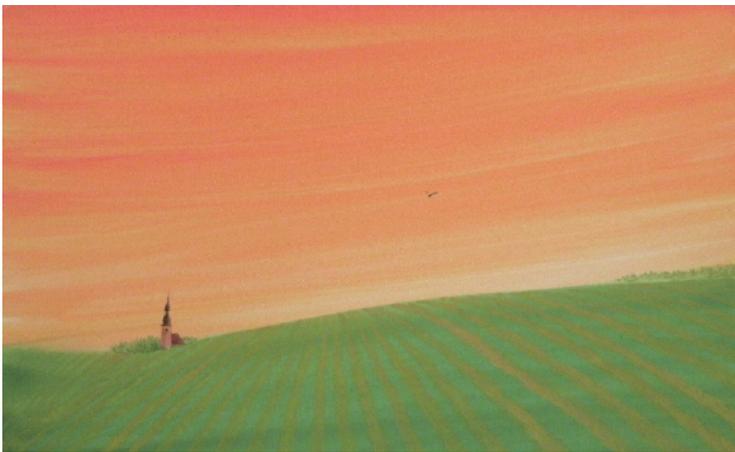


北鎌倉 葉祥明美術館

絵には様々な見方があります。自分なりの見方をワークシートによる鑑賞を通し考え・感じてみてください。

葉祥明は空気を描く画家とも言われています。
あなたはどんな空間を感じますか……

●2012年に出版された詩画集のために描かれた作品「晩禱」(読み:ばんとう)です。



・哲学者・今道友信氏が詩を書き、葉祥明さんが絵を描いた、この詩画集のタイトルは何でしょう。

・葉祥明さんが感銘を受けた美しい詩の世界を描いた絵ですが、あなたがこの絵に詩をつけたら、どのような言葉を綴りますか。

●この作品はあるサッカー界のスーパースターを主人公に描かれた絵本の一場面です。

・この作品に描かれている人物は誰でしょう。

・この作品のお話は「ひらまつりつこさん」が書きました。この絵本で描くきっかけとなったテーマが3つあります。“献身” “誠実”、3つ目はなんでしょう。



※ 葉祥明さんは作品を描く時、描く対象を調べ研究します。この絵本をきっかけに、初めてサッカー関連の雑誌を読んだといいます。描く事で新しい知識が広がることや、作品「晩禱」のような新たな出会いが作品になる事もあります。探究心を持ち続けることが大切ですね。

●絵本『森が海をつくる』の一場面です。



※ 日本各地の漁師さんたちが、豊かな海を取り戻そうと山に登り木を植えはじめました。

その活動に賛同したジェイクが海や川や森の声を聞き、生命と水の大切さや地球の自然のことを一緒に考えて、伝えてくれます。海辺の人も街の人も、山の人たちと一緒に木を植えようと提案する絵本です。

・この作品は黄色の大地に木が一本描かれて、葉祥明さんの他の作品にもよく見る構図です。多くは‘お花畑の大地に大木が一本’や‘黄金の麦畑の丘に木立’といった優しい風景ですが、この作品は少し意味が違います。この黄色の大地は植物の生えていない荒地として描かれています。なぜ荒地になってしまったのでしょうか。

・1997年に出版された『森が海をつくる』を1冊目とし、その後 環境三部作としてジェイクを主人公にした「空」と「海」それぞれをテーマにした絵本を発表しました。『森が海をつくる』以外の残りの二冊は何と言う絵本でしょうか。

*葉祥明さんは、様々な題材の絵本を描いています。どの作品もそのテーマを掘り下げ、見る側の知的探究心をくすぐります。美術館で本物の作品を観て、その世界感を感じてください。